
2007年度
環境レポート

対象期間 2007年1月～2007年12月

発行日：2008年1月21日

更新日：2008年11月6日

 株式会社 **フォーミット**
FOURMIT

環境方針

- 1 . 事業活動の全ての領域で、省エネルギーの推進、排出物の減量化、資源の有効利用などを行い、環境保全に貢献します
- 2 . 保全の理解を深めるため、社内外の関係者を巻き込んで環境管理活動を推進します
- 3 . 省エネルギーなど、環境負荷の小さい製品の技術開発に努めます
- 4 . 国や地域において定められた法律や規則を遵守すると共に、一層の継続的改善と維持管理に努めます

2006年4月5日

株式会社 フォーミット

代表取締役

中林 康二

1. 事業活動の概略

- ・ 事業所名

株式会社 フォーミット

- ・ 所在地

大阪府豊中市原田元町 2 - 2 1 - 4

- ・ 環境保全関係の責任者及び担当者

責任者	代表取締役	中林 康二
担当者	プランニンググループ	谷 昌憲

- ・ 連絡先

T E L (06) 6845-4310

F A X (06) 6842-3510

E-MAIL fourmit@fourmit.co.jp

- ・ 事業内容

自動制御機器の設計・製作・販売

- ・ 事業規模

売上高 1 5 3 百万円

社員数 1 5 人

事務所延床面積 2 2 8 m²

工場延床面積 3 4 0 m²

総延床面積 5 6 8 m²

* 2 0 0 7 年 1 0 月に工場スペース (2 6 3 m²) を拡大

2. 環境目標とその実績

二酸化炭素排出量の低減

- ・ 電気使用量を 2 3 8 , 0 0 0 MJ/年以下にします
- ・ ガソリン使用量を 3 , 4 0 0 L /年以下にします

廃棄物の低減

- ・ 売上高当たりの排出量を 3 kg/百万円にします

リサイクルの推進

- ・ リサイクル率 7 2 % 以上を継続します

グリーン購入の推進

- ・ グリーン購入比率 75%以上を継続します

水資源の節約

- ・ 排水量を 89 m³以下にします

環境負荷を考慮した技術開発推進

- ・ お客様に E C O 製品や R o H S 適合品を提案します
- ・ 売上高当たりの設計不良による損失金額を 2005 年度比で 30%低減する事により、環境負荷への低減を図ります

環境実績及び今後の目標

項 目	単 位	2005 年	2006 年	2007 年	(目標) 2008 年	(目標) 2009 年
電力使用量	MJ/年	264,328	238,397	208,327	238,000	235,000
ガソリン使用量	L/年	3,779	3,434	1,831	3,400	3,300
二酸化炭素排出量	kg-co ₂ /年	18,939	17,139	12,263	17,045	16,544
排水量	m ³	147	89	84	89	85
廃棄物量	kg/年	1,431	1,901	1,295	-	-
(内、コピー用紙廃棄量)	kg/年	449	616	817	-	-
売上高当たりの廃棄物量	kg/百万円	4.71	7.98	8.46	3.00	3.00
コピー用紙購入量	kg/年	165	152	38	-	-
リサイクル率	%	71.1	81.2	80.9	72.0	72.0
グリーン購入率	%	73.2	64.5	54.9	75.0	75.0
売上高当たりの設計不良損失金率	%	100 (基準年)	77.8	197.1	70.0	70.0

* 2007年10月に工場スペース(263m²)を拡大に伴い目標値を修正

3. 主要な環境活動計画の内容

二酸化炭素排出量の低減

電気使用量に対して

- ・ 事務所内の照明を効率の高い蛍光灯に順次交換していきます
- ・ クールビズなど空調を必要最小限に留めます

ガソリン使用量に対して

- ・ 長距離となる出張では電車等による移動を呼びかけます
- ・ 経済速度での走行を行います
- ・ 走行経路を事前に確認し無駄な走行を無くします
- ・ 燃費向上の為にタイヤの空気圧点検を行います
- ・ 使用量確認を年2回以上行います

廃棄物の低減

- ・ 仕入れ先に納品物梱包材やカタログの回収をさらに依頼していきます
- ・ コンビニ弁当などでは廃棄物が出るので弁当の持参などを呼びかけます
- ・ 大掃除などの業務では廃棄物量の変動が大きく、低減対策を打ち立て難く、これを解消する為に年内中に保管しているファイルの整理を昨年度に引き続き進める上で再度計画の見直しを行うなど作業の見直しを行います
- ・ 本来、不必要である不具合など手直し作業時の廃棄物を削減する為に、環境目標の項目に挙げている設計不具合対策に絡め作業内容を見直します

リサイクルの推進

- ・ 廃棄物の分別確認を行い、リサイクルできる物がその流れに乗っているか確認します
- ・ 製品の出荷梱包ではクッション材やダンボールなどの再使用や、簡易包装を心がけていきます

グリーン購入の推進

- ・ O A 機器やサプライ品購入の際は、エコマーク商品や分解廃棄できる物並びに繰り返し使用できるものなどの環境負荷低減商品を購入していきます
- ・ 常に最新のカatalogを参考に購入品を選びます

水資源の節約

- ・ 節水運動を引き続き呼びかけます

環境負荷を考慮した技術開発推進

- ・ 装置運用時の環境負荷低減ができるようにメンテナンスフリー製品のリストアップや商品毎のR o H S 指令対応表などを作成して、お客様に提示できるようにします
- ・ D R や物件の振り返りなど設計検証を実施し、改善案をまとめて設計不良損失金の低減に努める

4 . 環境保全活動の取組結果の評価

取組結果

二酸化炭素排出量の低減

出張の回数が少なく、車の使用頻度が下がったのでガソリンの使用量が前年度比で約53%となりました。使用頻度が下がった事もありますが社内での会話では「エコドライブ」「低燃費走行」などと言葉が飛び交い、具体的取組みが実行できていると感じます。これらの取組みに対しては確実に活動が浸透したように思います。

次に、電力使用量も大半の月が前年度比で下がっており、こちらも定着したようです。

廃棄物の低減 ×

目標の達成とはなりませんでしたが、「年内中に保管しているファイルの整理」とサブテーマを立て取り組んできました。これにより不要なものを今年度で廃棄することが出来たと思います。次年度より再出発するつもりで、改めてこの目標に取り組んでいきます。

リサイクルの推進

廃棄物の分別が定着し特に問題なく、活動が執り行えています。目標も達成となり、今後はこの分別作業が崩れないよう新人教育や日々の取組み確認などで継続していけるよう進めていきます。

グリーン購入の推進 ×

エコ商品の購入できる品目も増え、購入品目比率もエコ商品が高くなりました。ですが依然ユニホーム等の衣類はエコ商品が選べず、苦戦しています。

引き続き購入の際には必ずカタログを広げ、エコ商品がないか確認する事を行っていきます。

水資源の節約

年間を通して前年度と同等の使用量でした。業務的にも変動が少ない項目なので、以後は定期的な管理を行っていきます。

環境負荷を考慮した技術開発推進 ×

お客様からの RoHS 対策品指定など、要求事項もより環境を意識した内容となってきました。当社もこれら環境設計を念頭に取り組んできましたが、目標としている設計不良の損失金は基準年度比で197%の増加となり、環境負荷となる手直し作業を減少とはなりませんでした。

内容的には開発品に伴うものが多かった事、またそれを除いても前年度比で約21%の増加でした。

環境に関わった問題だけに留めず、改めて取り組みを強化していきます。

全体評価

コアとなるべき技術関係での設計不良損失の増加は今後の大きなテーマになります。設計者の意識向上と取り組み強化を積極的に進めることが重要課題です。

廃棄物の低減も含め、全ての目標達成に取り組んでいくこととする。

5 . 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありませんでした。また、過去3年間にわたって苦情など含め関係機関等からの指摘事項はありませんでした。

以上